

ゼネラルパッカー通信

証券コード：6267

平成29年7月期(第56期)中間 2016年8月1日▶2017年1月31日



世界の品質を
“包装”で守る



包装システムのトータルプランナー

ゼネラルパッカー株式会社

社 是

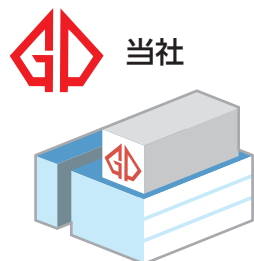
創造と挑戦 — 感ずる、信ずる、行動する —

経営理念

わが社はつねに、独創的な技術を活かし、顧客の要請に応える高品質な『商品』を提供する。

ゼネラルパッカーは、包装システムの課題解決型メーカーです。

GOT グループ



包装機械

各種自動包装機械及び
周辺装置の製造・販売

- ・当社主力の包装技術
- ・ガス充填包装
- ・チャック付
スタンドパウチ包装

生産機械

食品製菓機械の
製造・販売

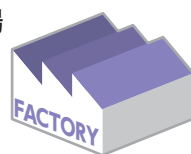
オサ機械
株式会社



当社グループのお客様

主要ユーザー

工場



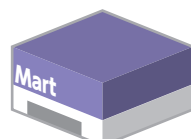
食品分野

化学分野

医薬品分野

その他

店舗



- ・スーパーマーケット
- ・コンビニエンスストア
- ・ドラッグストア
- ・ホームセンター等

食品分野

キャンディ
パン粉
花かつお
ふりかけ

ナッツ類
小麦粉
お茶
かち割り氷

お米・米菓
ドリップコーヒー
チョコレート
健康食品

化学分野

粉末洗剤
肥料

その他

ペットフード
野菜・花の種

病院



医薬品分野

輸液パック
カテーテル
粉末薬品

魅力1 卓越した技術力

魅力2 優れた人材

新たな包装技術の創出を進めつつ、汎用性の高い製造技術を蓄積。また、全従業員のうち 1/3 が開発部および技術部に所属、トータル人事システムに基づき、業界認定によるスペシャリストを育成しています。

魅力3 既存分野での高いシェア

小麦粉、かつおパック、かち割り氷など、多くの分野でのトップシェア獲得が安定した収益基盤につながっており、当社は上場以来赤字がありません。また、オサ機械はチョコレート製造機械分野でトップシェア。

魅力4 安定した株主還元

DOE 2 %以上の安定配当を続けています。

▶ P9へ

▶ P5へ

第4次中期経営計画

経営ビジョン

世界に飛躍する GP ブランド

One stop で応えるソリューションカンパニー

挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

海外市場での成長基盤構築へ

持続的成長に向けてグローバル企業を目指す

国内 安定的な売上高の確保

- 顧客関係の深化、新機種の投入
- ソリューションビジネスの拡大

海外 海外事業の強化

- 中国・東南アジア
市場の販売基盤の確立
- 海外市場向けの商品拡大

海外市場

世界20カ国
・中国 ・タイ
・台湾 ・カナダ
・フランス など

魅力4 新規分野・海外分野への成長

これから伸びが期待される医薬品・介護分野、また海外マーケットでの成長を続けています。

経営目標

第4次中計

	H29.7期目標
売上高経常利益率	5.5%以上
ROA (総資産経常利益率)	5.5%以上
ROE (自己資本当期純利益率)	6.0%以上

業績目標

	H29.7期目標
売上高	5,500百万円
営業利益	295百万円
経常利益	300百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	200百万円

基本戦略

- 1 顧客関係の深化と新機種投入により、国内市場で安定的な売上高を維持する
- 2 海外事業を強化し、海外市場向けの売上高の大幅な伸長を目指す
- 3 顧客の期待にワンストップで応え、ソリューションビジネスの拡大を図る
- 4 競争力強化と海外市場開拓のための商品開発を推進する
- 5 顧客が安心して生産活動できる包装システムとサービスの提供で、顧客満足度を得る
- 6 事業領域拡大のための M&A・アライアンスを推進する

持続的成長を実現するグローバル企業を目指し、 海外市場での基盤づくりを推進します。

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。
ここに当社第56期第2四半期累計期間（平成28年8月1日から平成29年1月31日まで）の営業状況と通期の見通しをご報告させていただきます。ご一読の上、当社事業へのご理解とともに、今後の成長に一層ご期待くださいますようお願い申し上げます。

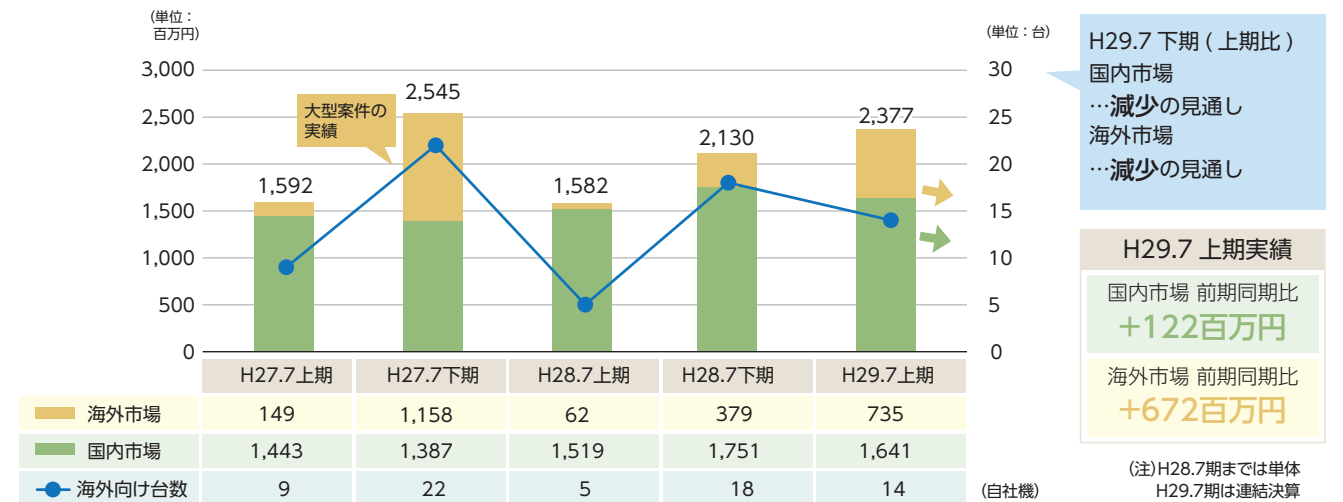
代表取締役社長 **梅森 輝信**

当期前半の事業環境と営業活動の成果

当社は、平成28年9月1日にオサ機械株式会社の発行済株式の全株式を取得し子会社化したことから、平成29年7月期より、単体決算から連結決算へと移行いたしました。また、平成28年3月30日に設立いたしました、当社100%出資子会社の蘇州日技通用包装机械有限公司は、当社業績に与える影響が軽微であったことから平成28年7月期は非連結子会社としていたものの、今後重要性が増すことが予想されることから平成29年7月期より連結の範囲に含めることいたしました。また同時に、単一セグメントから「包装機械」「生産機械」の2セグメントに変更しております。

包装機械業界の事業環境は、国内の需要は引き続き堅調に推移しているとともに、輸出においてもアジア・北米向けが好調に推移しており、平成28年度の生産高は、業界全体で4,000億円を維持する見通しです。品目分類においては、製袋充てん機が前年比16.6%増と好調であります（経済産業省 生産動態統計確報より）。

【包装機械】 国内・海外市場別売上高（エンドユーザー市場）



当社の包装機械の業績においては、国内市場では食品業界向けが堅調に推移したことに加え、化学関連業界向けの増加により、売上高は前年同期を上回る実績となりました。そのうち自社機品目に関しましては、前年同期比で販売台数が4台減少しましたが、高価格機種の増加により、売上高は期初の計画を上回る成果となりました。

食品機械業界の事業環境は、国内の需要は弱含みになっているとともに、輸出も、主力のアジア地区向けが減少基調で推移しています。

当社の生産機械の業績においては、大型プラントの販売実績が増加し、売上高は前年同期を上回る結果となりました。

第4次中期経営計画の進捗状況

第4次中期経営計画では、平成29年7月期までの3年間を「海外市場での成長基盤構築の時期」と位置付け、

国内市場における安定的な売上の確保とともに、海外事業の強化を目指しています。最終年度となる当上期は、新規販売チャネルの開拓として、平成28年7月期の台湾、タイ、インドネシアでの4社に引き続き、新たにアメリカで1社代理店契約を締結しました。今後もこれらの代理店ネットワークを最大限に活用し、平成28年8月より販売を開始した高機能給袋自動包装機GP-M3000型等の主力製品を中心に海外展示会への積極的な出品を行っていきます。

また、欧州市場におけるペットフード用包装機の拡大とともに、現在、中国の子会社を拠点として、中国市場での生産・アフターサービス体制と営業体制の確立に力を注いでおり、海外市場での成長基盤構築に向けた取り組みを加速させています。

当期後半の見通しと通期業績予想

当期後半の業績は、包装機械においては、高額案件

の減少により、売上高は国内市場・海外市場ともに減少の見通し、生産機械においても減少の見通しではありませんが、引き続き大型案件の受注を目指していきます。

通期業績見通しについては、期初予想を変更せず、売上高64億円（前期比26.9%増/参考）、営業利益2億96百万円（同10.7%減）、経常利益3億円（同9.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益1億60百万円（同31.0%減）を見込んでいます。

株主の皆様へのメッセージ

今回の第2四半期末配当につきましては、予定通り1株当たり20円とさせていただきます。期末配当につきましては、同20円を予定しております。平成27年7月期と

平成28年7月期は、当期純利益が当初計画を大きく上回りましたので、期末配当を増配しておりますが、平成29年7月期は、減益予想のため、年間で40円を予定しております。

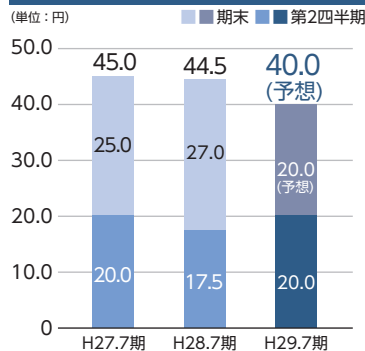
当社は食品や医薬品を安全・確実に包装する技術を通じて、より大きな社会的貢献を果たせるよう、一層の努力を重ねるとともに、業績の向上と企業の健全性に努めていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社事業への継続的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

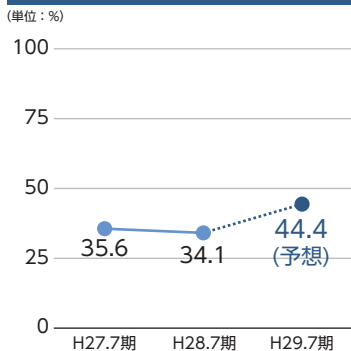
株主還元方針

株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、配当性向 50%または純資産配当率 (DOE) 2% を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指しています。

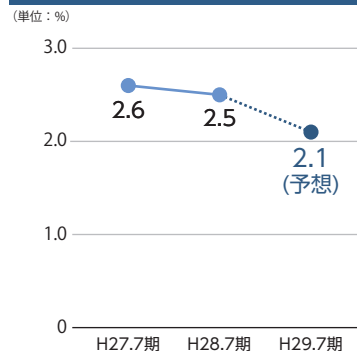
1株当たり配当金



配当性向



純資産配当率 (DOE)



メカトロハイスペック包装機

GP-M3000 SERIES

操作性・安定性・清掃性・安全性が飛躍的に向上！
高機能給袋自動包装機

次代の包装を担うフラッグシップ機

2016年8月に主力給袋自動包装機であるGP-2000の後継機となる最新機種「GP-M3000」シリーズを発表。次代の包装機を担う、その高い性能や新たに導入された最新技術についてご紹介します。



特長 1

高度なメカトロ技術で使いやすく高効率

給袋、振動、シール工程において、高度なメカトロ技術を採用することで、優れた操作性や安定性、安全性をもたらし、作業における高い効率性を実現しています。

特長 2

新型給袋装置 SPS 搭載

袋位置決め台上で、袋幅、袋長さ、傾きの補正を実施することで、極限まで、袋受け渡しミスを解消することが可能です。

特長 3

3分間アイテム変更

従来機で約30分掛かっていたアイテム変更を3分で実現。爪幅、給袋、開口充填、振動、シール工程の自動調整機能で、工具による調整作業を大幅に軽減します。

展示会レポート

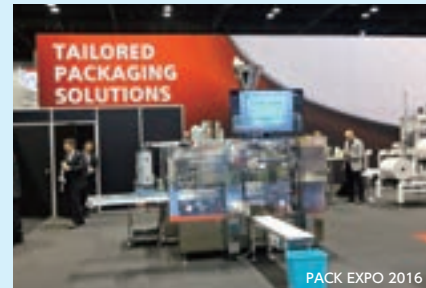
PACK EXPO 2016

アメリカ/シカゴ

海外からも高い評価。新市場開拓の足掛かりに。

2016年11月6日から9日まで、アメリカのシカゴで開催された「PACK EXPO 2016」において、アメリカの販売代理店ブースにて新機種GP-M3000シリーズを出品。最先端のメカトロ技術を搭載した優れた機能性や操作性が、

多くの来場者から高い評価をいただきました。このアメリカでの出品を皮切りに、今後ドイツで開催される「interpack2017」、日本で開催される「FOOMA JAPAN2017」にも出品し、新機種のPRを実施していく予定です。



経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費に持ち直しの動きが見られ、雇用・所得環境においては改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

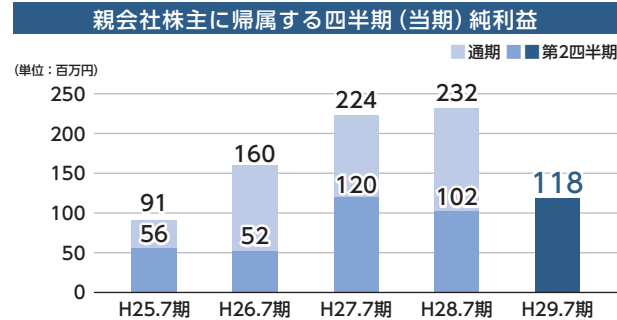
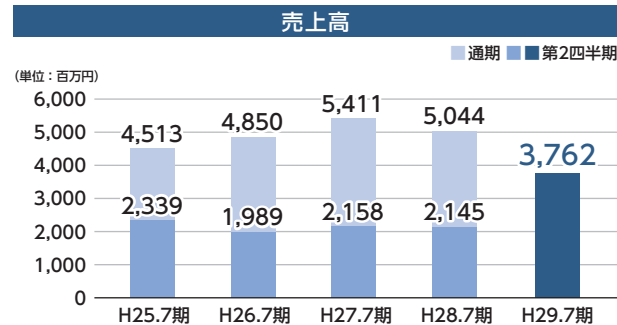
このような状況のなか、当社グループは海外事業の強化、ソリューションビジネスの拡大に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は3,762百万円、営業利益は200百万円、経常利益は

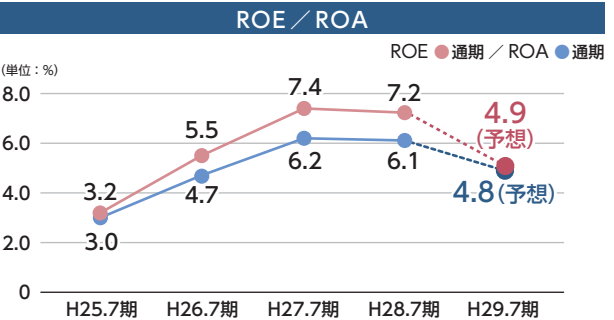
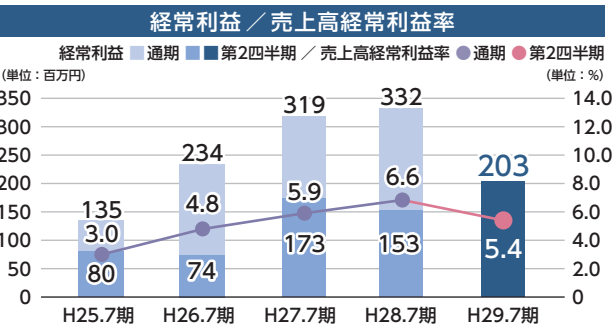
203百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は118百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

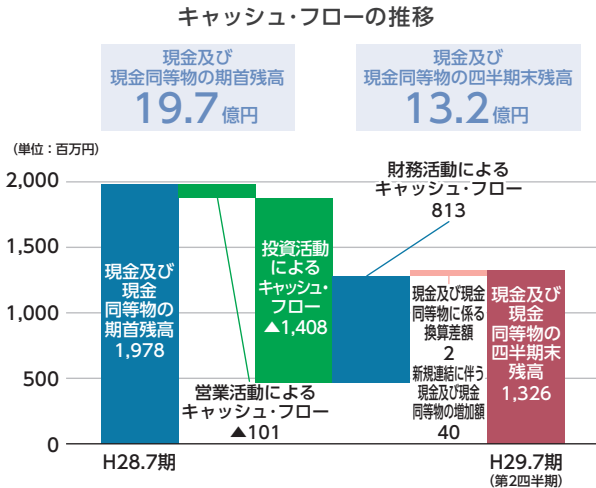
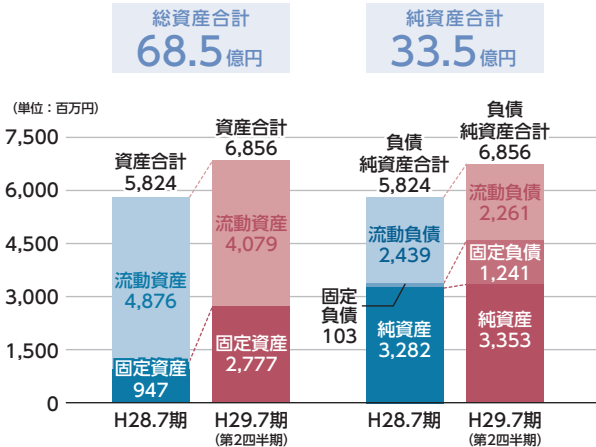
包装機械事業は、主力の給袋自動包装机を中心に売上高は3,060百万円、営業利益は237百万円となりました。また、生産機械事業は、大型のプラント案件を中心に売上高は701百万円、営業利益は38百万円となりました。



(注)平成28年9月1日付でオサ機械株式会社を完全子会社化いたしました。
そのため、平成25年7月期から平成28年7月期までは単体、平成29年7月期は連結決算となっております。

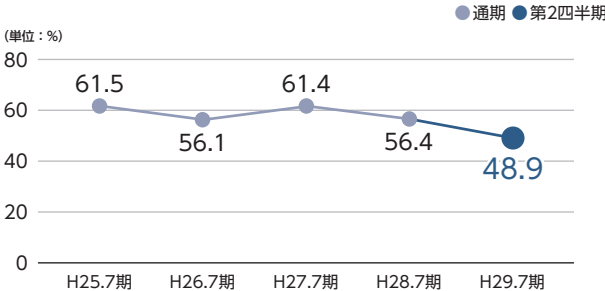


財務状況



(注)平成28年9月1日付でオサ機械株式会社を完全子会社化いたしました。
そのため、平成28年7月期は単体、平成29年7月期は連結決算となっております。

自己資本比率



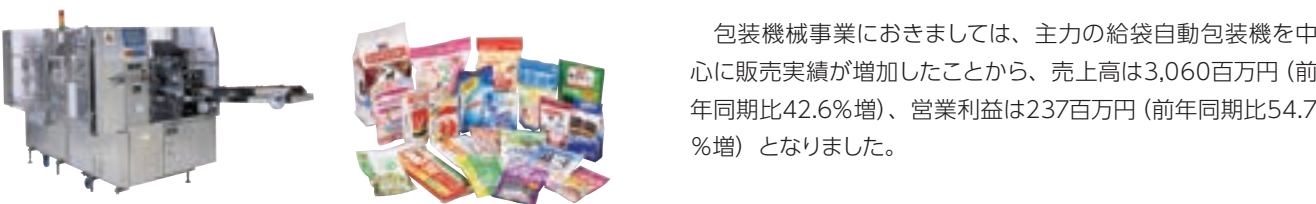
財務分析

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は6,856百万円となりました。主な内訳は、売上債権及びファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額の合計額が1,649百万円、現金及び預金が1,426百万円、棚卸資産が910百万円、のれんが714百万円です。

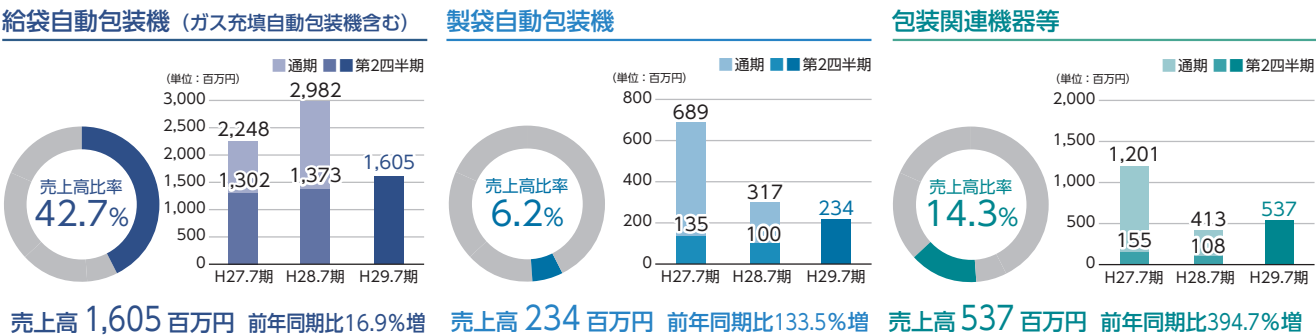
キャッシュ・フロー分析

営業活動の結果使用した資金は、101百万円となりました。収入の主な内訳は、たな卸資産の減少額412百万円、売上債権の減少額253百万円等であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額624百万円、前受金の減少額237百万円等であります。投資活動の結果使用した資金は、1,408百万円となりました。これは、主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,504百万円等であります。

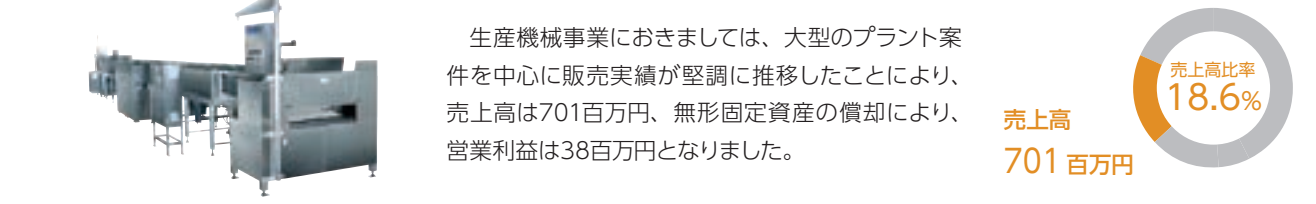
■包装機械



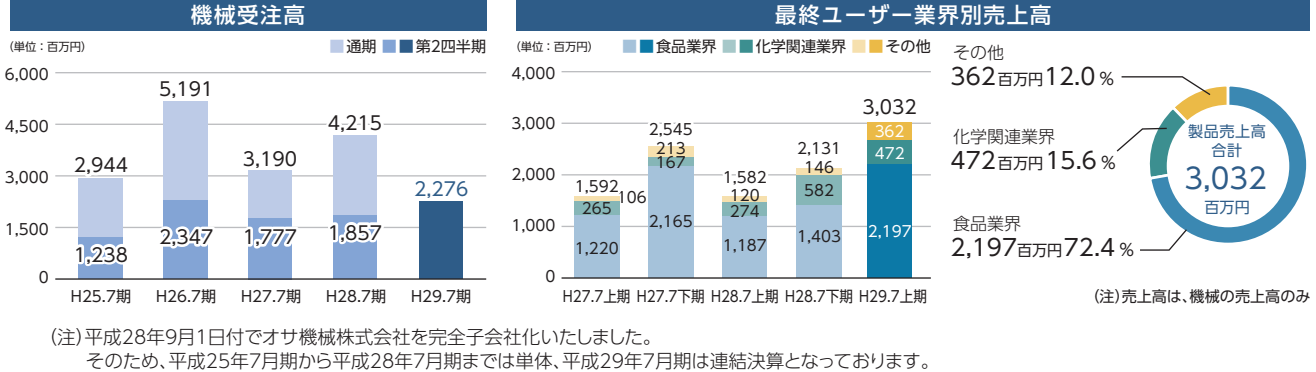
包装機械事業におきましては、主力の給袋自動包装機を中心に販売実績が増加したことから、売上高は3,060百万円（前年同期比42.6%増）、営業利益は237百万円（前年同期比54.7%増）となりました。



■生産機械



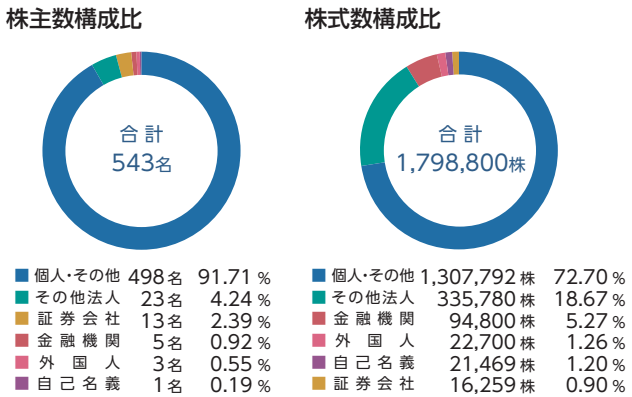
生産機械事業におきましては、大型のプラント案件を中心に販売実績が堅調に推移したことにより、売上高は701百万円、無形固定資産の償却により、営業利益は38百万円となりました。



会社概要（平成29年1月31日現在）		
商 号	ゼネラルパッカー株式会社	
英 文 社 名	GENERAL PACKER CO., LTD.	
設 立	昭和41年2月（創業 昭和36年12月）	
資 本 金	2億5,157万7千円	
事 業 内 容	各種自動包装機械及び周辺装置の製造・販売、食品製菓機械の製造・販売	
従 業 員 数	163名（連結）	134名（単体）
本社・工場	〒481-8601 愛知県北名古屋市中福寺 神明65番地 Tel. (0568) 23-3111（代） Fax. (0568) 22-3222	
東京営業部	〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町 三丁目5番地8 神田木原ビル4F Tel. (03) 3256-3891（代） Fax. (03) 3256-3893	
子 会 社	オサ機械株式会社 蘇州日技通用包装机械有限公司	

取締役及び監査役（平成29年1月31日現在）		
代表取締役社長	梅 森 輝 信	
専務取締役	小 関 幸太郎	管理部 兼 資材部担当
常務取締役	鈴 木 完 繁	オサ機械㈱ 代表取締役社長
取 締 役	牧 野 研 二	開発部 兼 技術部 兼 生産部担当
取 締 役	尾 関 津 義	営業本部長 兼 システムソリューション部担当
取 締 役	井 土 信 行	
常勤監査役	福 井 義 雄	
監 査 役	村 橋 泰 志	
監 査 役	浅 井 一 郎	

株式の状況（平成29年1月31日現在）		
発行可能株式総数	5,600,000株	
発行済株式総数	1,798,800株	
株主数	543名	
大株主（平成29年1月31日現在）		
株主名	持株数（株）	議決権比率（%）
株式会社ワイ・イー・データ	270,000	15.19
ゼネラルパッカー従業員持株会	263,000	14.85
株式会社りそな銀行	78,400	4.41
高野 季久美	77,800	4.37
田中 かなな	77,800	4.37
ゼネラルパッカー取引先持株会	76,600	4.31
原 紳二郎	68,812	3.87
梅森 輝信	52,000	2.92
原 晋一郎	49,188	2.76
島末 孝法	39,200	2.20



IR サイトでも、詳しい情報を提供しています。

当社ホームページでは、新着情報、会社情報、商品情報、IR情報等、様々な情報をご提供しています。
今後も皆様にお役立ていただけるよう掲載情報の一層の充実を図ってまいります。

http://www.general-packer.co.jp/ir_index.html

企業ホームページ
最優秀サイト

日興アイ・アール
新興市場ランキング

6年連続受賞

主なコンテンツ

経営方針・戦略

当社の企業ビジョンや中期経営計画、CSR 情報などをご覧ください。

決算・IR資料室

アナリスト向けの決算説明会の様子が動画でご覧いただけます。

1. 決算説明会
2. IR カレンダー
3. 個人投資家の皆様へ

お勧め情報 ランキング

IR サイトの中から株主や投資家の皆さまのお役に立つ、当社お勧めの情報をランキング形式で紹介します。(不定期更新)



個人投資家の皆さまへ

業界情報や事業内容や特長、配当についてわかりやすく解説しています。



▲トップページ

株主メモ

事業年度	8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	10月
基準日	定時株主総会 7月31日 期末配当金 7月31日 中間配当金 1月31日 その他あらかじめ公告する一定の日
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社

同事務取扱場所	〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
お問い合わせ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 Tel. 0120-707-843 (フリーダイヤル)

公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載URL <http://www.general-packer.co.jp/>

各種手続きのお申出先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ・住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等証券保管振替機構（ほふり）をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。証券保管振替機構（ほふり）をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

包装システムのトータルプランナー
ゼネラルパッカー株式会社

●本社・工場
〒481-8601 愛知県北名古屋市宇福寺神明65番地
Tel. (0568) 23-3111 (代) Fax. (0568) 22-3222
●東京営業部
〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町三丁目5番地8 神田木原ビル4F
Tel. (03) 3256-3891 (代) Fax. (03) 3256-3893

UD
FONT

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C022915

VEGETABLE
OIL INK